

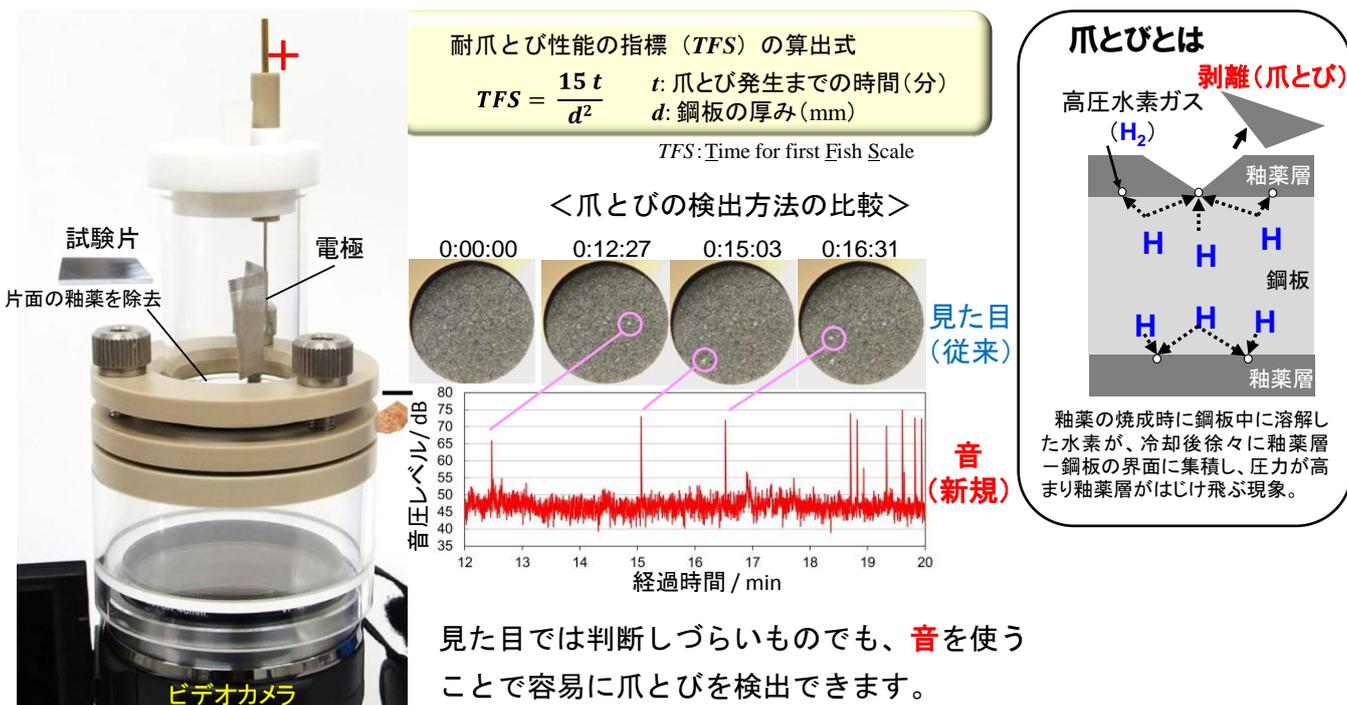
強制爪とび試験における爪とびの検出方法

ほうろうには「爪（つま）とび」という不具合が知られています。本技術は、耐爪とび性能を有する、ほうろう用の釉薬を開発する上で必須となる耐爪とび性能の評価を可能とするものです。

本技術の内容・特徴

◆ 強制爪とび試験

水の電気分解の原理で試験片表面（鋼板側）に水素を発生させ、強制的に爪とびを発生。試験開始から爪とび発生までの時間で評価。



従来技術に比べての優位性

- ① 爪とびの検出に音を用いることで測定者間でのばらつき低減
- ② 音を用いて自動計測化も可能

予想される効果・応用分野

- ① 耐爪とび性能を有する釉薬の開発

提供できる支援方法

- 共同研究

知財関連の状況、文献・資料

➤ 文献資料

- [1] 吉野 他: 平成 27 年度都産技研研究成果発表会要旨集, p.71
http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h27_youshi/documents/monozukuri_01.pdf
- [2] 吉野 他: 都産技研研究報告, No.10, p.88-89 (2015)
<http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/houkoku/h27/documents/n2714.pdf>